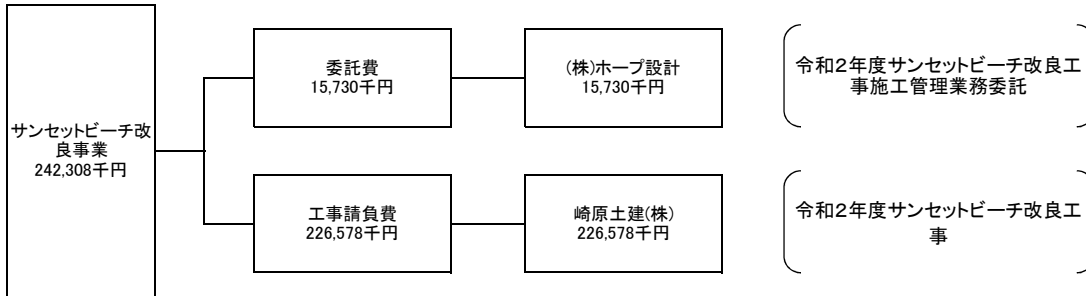


市町村名	北谷町						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	サンセットビーチ改良事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	建設経済部 土木課	事業実施(予定)年度	平成29~令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	サンセットビーチは、これまで部分的な改良をしてきたがその都度新たな課題が出るなどを繰り返しているため、ビーチ全体の改良として本事業を行う。本事業において、当ビーチを整備拡充することで観光客受入体制を整え、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	-	203,268	-		
		(b)予算現額	-	263,358	-		
		(c)増減額(b-a)	-	60,090	-	0	0
		(d)繰越額	-	-	121,279		
		A.計(b+d)	-	263,358	121,279	0	0
		B.執行済額	-	135,722	106,586		
		うち交付金充当額	-	108,577	84,619		
		次年度繰越額	-	121,279	-		
		執行率(%) (B/A)	-	51.5%	87.9%		
予算の状況の説明	・当初申請時にはない工事の追加と環境対策工法変更を行い、7月補正で53,731千円を増額し、事業費を257,001千円とした。 ・工事の実施にあたり、施工業者と漁協組合の間で汚濁防止協定についての調整に不測の日数を要したため、年度内の工事完了が困難となり、121,279千円を令和3年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	令和2年度サンセットビーチ改良事業。離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工	目標	離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工	( )	( )	( )	( )
		実績	離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	R2年度改良工事において、離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R6年度)
	サンセットビーチ改良工事のうち、離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工の竣工。	目標	( )	(完了)	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【参考指標】サンセットビーチ年間利用者数 ※ビーチ利用者数を成果目標として設定。	目標	( )	( )	( )	( )	(330,000)
		実績		116,047	97,388		
進捗状況説明	R2年度改良工事において、離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・工事の実施にあたり、施工業者と漁協組合の間で汚濁防止協定についての調整に不測の日数を要した。</p>	<p>・早期の発注を行うことで、通常の工期に加え、関係機関との調整時間を確保する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・工事の発注時期を早める取り組みを行う。また、発注前に、町から漁組へ工事の説明を行い、当事業への理解・協力を得る等事業進捗を円滑にするための取り組みを行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
242,308	242,308	193,196	49,112	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は町の指名業者選定委員会にて企業組織、実績、知識等を助案した上で選定されており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使徒については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	